

Graceway Therapy

"Positive Criminology: The New Perspective
of Criminology and Victimology"

Date

2018. **9.18** 2:00pm-4:00pm

Place

龍谷大学 深草学舎 至心館1階

You,
Unlimited



特別講演「肯定的犯罪学：犯罪学と被害者学に関する研究の新たなパースペクティブ」

～ポジティブ犯罪学と12ステップのスピリチュアリティを学びたい人のために～

イスラエルのバル＝イラン大学から、
ナッティ・ローネル教授（犯罪学）を
お招きして、公開研究会を開催します。
みなさま、奮ってご参加ください。

事前申込不要・参加費無料・逐次通訳あり

主催：龍谷大学 犯罪学研究センター

[TEL] 075-645-2184

[FAX] 075-645-2240

[E-mail] crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp

[URL] <https://crimrc.ryukoku.ac.jp>

[Twitter] @Ryukoku_CrimRC

Special lecture on criminology

テーマ

肯定的犯罪学：犯罪学と被害者学に関する
研究の新たなパースペクティブ
"Positive Criminology: The New Perspective of
Criminology and Victimology"

- ・ 講師：ナッティ・ローネル教授（イスラエル・バル＝イラン大学犯罪学部）
- ・ モデレーター：石塚 伸一（本学法学部教授・龍谷大学犯罪学研究センター センター長）
- ・ 主催：龍谷大学 犯罪学研究センター（Criminology Research Center）

企画趣旨

犯罪者の社会復帰をめぐる議論においては、一般に、否定的原因を減少させ、リスクを管理を強調する論者が多い。しかし、「デジスタンス（desistance）」（＝本来の回復）という観点からすれば、このような議論は、必ずしも、人間の成長とその環境要因の発展を促す肯定的側面と自動的に繋がるものではない。

肯定的犯罪学は、犯罪を惹起した否定的要因を克服し、対象者の個人的体験を肯定的な反発力や人間力へとつなげていくことによって、犯罪に対するデジスタンスを促進しようとする。しかし、このような理念は、比較的新しいものであるため、調査研究や刑事司法を指導する実践原理にまではなっていない。今回の講演では、肯定的犯罪学という理念を刑事司法実務の実例を紹介しながら、わかりやすく説明していただこうと考えている。

今回お招きしたローネル教授は、肯定的犯罪学の創始者である。「グレイス・セラピー（Grace Therapy）」という独自のスピリチュアル・モデルを開発し、12ステップ・プログラムの実用化を促進している。このモデルは、イスラエルの薬物回復支援専門職の要請プログラムに採用されている。また、ローネル教授の在籍するバル＝イラン大学は、このモデルの主導的研究機関でもある。同大学は、薬物回復支援の専門家を育てるための養成コースを構築している。この養成コースを出た者は、イスラエル反薬物局、福祉省、矯正局などで指導に当たっている。

講師紹介

ナッティ・ローネル教授 | Prof. Natti Ronel

1984年、テルアビブ大学において心理学学士。1995年ネブライ大学において犯罪学博士。学位論文『イスラエルにおけるナルコティック・アノニマス：薬物依存におけるセルフ・ヘルプと信頼の手続（Narcotics Anonymous in Israel - Self-help and faith processes among drug addicts）』。1996年テルアビブ大学ソーシャルワーク学部博士研究員（PD）。研究テーマは「物質依存からの回復における道徳的推論の成長（The development of moral reasoning among substance dependents in recovery）」を経て、現職。



アクセス

- ・ 京都市地下鉄烏丸線「くいな橋」駅より東へ徒歩約8分
- ・ 京阪本線「深草」駅より西へ徒歩約12分



Shall we do
Criminology?

Ryukoku
CrimRC

龍谷大学
犯罪学研究センター

